

STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

さようなら留学生 その1

二人の留学生が、留学期間を終えて、帰国しました。7月6日（金）に修了式を予定していましたが、大雨のため臨時休校となり修了式は中止になりました。一人は、昨年8月から滞在していたAFS長期留学からの留学生クリス（Cristina de Cadiz Gomez）さん（スペイン）、もう一人は4月から滞在した、姉妹校南京外国語学校の交換留学生崔（崔子菡）さん（中国）です。クリスさんは、当初はほとんど日本語ができませんでした。まじめで明るい性格でたくさんの友だちをつくり、積極的に日本語を学習し、日常の会話は十二分にできるレベルになりました。崔さんは、日本語科の生徒ですから、留学生のための日本語授業には出席せず、通常の授業を受けました。

修了式で披露する予定のスピーチを紹介します。

私の名前は定松クリス

131 Cristina De Cadiz Gomez (クリスティーナ)

AFS 年間留学生

Nuestra Señora de las Escuelas Pías de Noche (スペイン)

期間 2017/8/25 ~ 2018/7/7



こんにちは。

私はクリスティーナです。ごめんなさい間違えた、私の名前は定松クリスです。最初、私はこの1年間がめっちゃ長いと思った。でも全然違うめっちゃ早かったです。日本に来る前、私は名古屋に住みたいと思っていました。でも AFS からメールがきて、私の家は滋賀県になりました。アァ...滋賀県？、何それ？と思った。でもめっちゃ良かった。ホストファミリーも良かった。学校も良かった。友達も良かった。

この留学は赤ちゃんの成長みたい。最初は日本語ができなくて、難しかった。文化もあんまり知らなかったです。去年の夏、私は赤ちゃんでした。今その赤ちゃんが成長した。今日本語できるし、文化もわかる。めっちゃうれしい。

私の思い出について話したいと思います。最初はホストファミリーの思い出。いっぱい思い出あるし選べない。ホストファミリーはめっちゃ良か

った。めっちゃ優しい。私は本当にラッキーです。本当の私の家族になった。この思い出が好き。お父さんは私にカレーの作り方を教えてくれた。お父さんのカレーはめっちゃ美味しい。

次は学校での思い出。最初の1か月、みんなの名前覚えられなかった。いつも君とあなたを使った。1か月後、私は授業中に双子がいることを知りました。びっくりしました。恥ずかしかった。最後の思い出は先週のことです。文化祭と体育祭を初めてした。この思い出大好き。スペインの料理を作った。体育祭で勝った。本当に嬉しかった。今年はめっちゃ良かった。いっぱい思い出作ったり、友達いっぱいできた。すごいラッキー。みんないっぱい手伝ってくれてありがとう。本当にありがとう。もっと一緒に遊びたい。もっとカレー食べたい。131の卒業式を見たい。でもちょっと難しい。だからみんないっぱい写真撮って、後で私に送って下さい。



留学は終わったけど、赤ちゃんクリスはまだまだ成長します。これは最後、ほんとにありがとう。

楽しかった虹隣祭

A22 崔子菡

姉妹校交換留学

南京外国語学校（中国）

2018.4.4 ~ 7.7



みなさん、こんにちは。ここでスピーチをするのは2度目ですね。1度目はここに来たばかりの時なのですが、まさか2度目のスピーチはもう最後の時になりました。

ここに来る前に、3か月は結構長い時間だと思いました。今でもまだ長い時間があるという感じ。私はよく知らない人と喋ることが嫌いなので、来る前にホストファミリーとち

さんと暮らすことができるのか、友達ができるのか、君のような「コミ障」が本当に大丈夫なのかなどよく言われました。みんなが優しく話しかけてくれて本当にありがとうございました！みんなのおかげで、短い間にここの生活に慣れることができました。学校に通うことも、授業を受けることも意外と短い時間で慣れました。

ここでの勉強は本当に楽しかった。宿題もほとんどないし、家に帰ってゲームしても叱られないし、復習しなくてもたいてい大丈夫だし、これだけで中国帰りたくありません。ここで3か月間留学することは言い換えれば中国のみんなが習った

さようなら留学生 その2

約1か月の短期ではありますが、イギリスの姉妹校・Woodbridge Schoolからの初めての交換留学生とYFUのショートプログラムの留学生の修了式が7月13日(金)にありました。この日は、オーストラリアの姉妹校・St. Patrick's Collegeのホームステイの一行の最終日でしたので、合同の修了式となりました。

The Most Amazing Month Of My Life

I11 Sebastian Ward (Sebbie)
姉妹校交換留学
Woodbridge School(イギリス)
2018/6/20 ~ 7/17



とても楽しい1か月でした。新しい友達ができ、皆は僕に日本語を教えてくれました。ありがとうございました。なお先生、デビッド先生、はつとり先生、ありがとうございました。それからトマスさん、さやかさん、ルークさん、ジェーク、サラ。ありがとうございました。みんなとさよならするのはとてもさみしいです。

This has been an amazing month. My friends in Class I11 have been so helpful during my stay here, helping with my Japanese and generally making sure that I understand everything in class. Thank you all so much. Secondly, I'd like to thank all of the staff here and at Woodbridge, especially Nao sensei, David sensei, and Hattori sensei, for giving me this incredible opportunity. Thirdly, I would like to thank my Parents who have been so supportive of me coming halfway across the world to study here. Thank you. Finally I'd like to thank Thomas, Sayaka, Luke, Jake, and Sara for letting me stay in their house for a month. Without your generosity I wouldn't have been able to see much of surrounding Japan, and wouldn't even have been able to stay in the first place. Thank you so much for this. My mum, my dad, and I are so excited for Luke to come to England, and we hope to give him as

もの3か月全然勉強しなかったということです。中国に帰ったらみんなが楽しく夏休みを過ごす時に私はもっと勉強しなくてはなりません。たくさんの宿題もしなくてはなりません。いつもこれを思い出した時帰りたくない気持ちが溢れました。

すぐ前の虹隣祭も楽しかったです。2週間も授業がないことは中国では一生ないかもしれないと思いき、十分楽しんでいました。

本当に帰りたくないけど、飛行機の切符も買った以上帰らなければなりません。もう一度、ありがとうございました。

amazing an experience as I had here. I'm so sad to go and I'll miss my newfound friends.

Thank you all, it has been the most amazing month of my life.

アメリカではできないいろいろな体験

I 21 Jason Wu
YFU ショートプログラム
Manhasset High School(アメリカ)
2018/6/25 ~ 7/20

Hello. My name is Jason Wu, and I am 15 years old. I am from Manhasset, New York State located in the United States. I am a first year in high school.



This is the first time that I have traveled to another country by myself, as well as my first time studying abroad. I am so lucky to be able to travel to Japan, for it is an amazing and beautiful country. Even though my stay in Japan is short, I have met many incredible people and made many friends. I was able to experience things that I never would have in America. The teachers and students of Omi Brotherhood High School have been extremely helpful in teaching me Japanese and guiding me. Thank you to the class of I-21, teachers, my host family, and all of the other students and staff. I will miss everyone and I am grateful for everyone's hospitality. Thank you once again, and goodbye.

こんにちは。私はJason Wu、十五歳です。アメリカのニューヨーク州から来ました。高校一年生です。僕は初めて一人で外国に来ました。留学するのも初めてです。日本に来ることができてとても“lucky”でした。日本はすばらしくて美しい国です。僕は一か月しかここにいません。でも、たくさんの友達ことができました。アメリカではできないことをたくさん経験しました。生徒の皆さんと先生は、ぼくに日本語を教えてくれました。友達、ホストファミリー、I-21 クラス、皆さん本当にありがとうございました。みんなと別れるのはとても寂しいです。感謝しています。さようなら。

留学レポート

大きな一歩

121 北川 星羅
姉妹校留学

Citipointe Christian College(オーストラリア)
2017/7/15 ~ 2018/6/24



私は約 11 ヶ月間オーストラリアへ留学に行っていました。この留学を通してたくさん成長することができました。

1 つ目は英語力です、出発前は会話もままならなかったのが今では相手の言っていることを理解して会話を楽しむことができます。日本でも英語をしていたのである程度の文法は知っていたにも関わらず、実際に口に出して話すとき複数形の s が抜けていたりたくさんミスがありました。今でもそういった間違いはしてしまいましたが 1 年前に比べると私の英語力はたくさん改善されたと思います。そして母国語でない言語で会話することでコミュニケーションの大切さを改めて感じることができました。

2 つ目は自分で考えて行動できるようになりました。日本にいた時は何をすべきなのか友達に頼ったり周りに頼ってばかりでしたがオーストラリアに行ってから自分で何をすべきか考えて行動できました。また両親と離れて暮らすことで自立した生活の送り方も学びました。普段どれだけ両親に頼っているのか、どれだけ楽をしているのかがよく分かりました。また家族の大切さも分かりました。見ず知らずの家庭に 1 人ホームステイするので、孤独を感じることも多々あり日本に帰りたくなることもありましたが、とても暖かいホストファミリーのお陰で充実した留学期間を送ることができました。特に大きな問題を起こすこともなく 1 年間過ごせました。また、私の帰るときにはオーストラリアのお土産をたくさんくれました。

この留学で手に入った一番大きなことは自分の思いや意見をしっかりと伝えることです。向こうでも日本人は静かでシャイだと思われていて、自分から話しかけないと話してくれないこともよくありました。自分の意見をしっかりと伝える力は相手

にとってはもちろん、自分にとってもいいことに繋がるんだなと感じました。日本では自分の意見を直接言うとその場の雰囲気が悪くなってしまいうことがよくありますが、オーストラリアでは個人の意見をとても尊重して様々な場面で文化の違いを感じました。留学を始めた時は宿題の多さに中々慣れることができなかつたり、自分から話しかけられなく友達を作れなかつたりたくさん辛いことがありました。



しかし、今ではたくさんの友達ができました。オーストラリア人だけでなく韓国人や中国人、台湾人などアジアの友達も作ることができました。帰る前には色んなプレゼントを貰ってとてもうれしかったです。

時々、留学している意味が分からなくなったり諦めそうになることもありましたがこの留学は私のこれからにとって大きな一歩になりました。これから様々なことに挑戦していきたいです。

心の自由

121 加藤 大吉
姉妹校留学

Citipointe Christian College(オーストラリア)
2017/7/15 ~ 2018/6/24



僕は、オーストラリアのシティポイントクリスチャンカレッジに 11 か月間行かせてもらいました。そして、英語能力の上達だけではなく、多くのことそして、一人の人間としての成長を感じることができました。

僕が今回の留学に行くことを決意したのは、いくつかの理由がありました。1 つ目は、海外への憧れです。日本の環境、教育の中で育っていると、本来一人ひとりが持っているはずの違いや個性があまり表面に現れず、内面と外面で違いのある人が多いと思います。そして、その状態を変えようとならない日本に疑問を抱いていました。さらに僕は、小さい頃から国外に行って、新しくそして、いつも見ているものと違うもの、人を見る機会に恵まれていました。その中で、他の人や環境、個性を認め合える場所に憧れていたため今回の留学に参加することを決めました。

2 つ目の理由は自分自身に感じていた危機感です。元々は小さい頃からサッカーを中学の 3 年生までして、プロを目指すかどうかを考えていたほどに真剣にサッカーに取り組んでいました。しかし、進路を決める時に、色々な理由を自分の中で付け、そして他の分野へと進むことを決めました。

それからしばらく経って、知らないそして見えない所に行く前に諦めてしまった自分を変えられなかったら、大したことができないまま、人生が終わってしまうと思い、留学の話聞いた時は、迷ったら負けだと思い、行くことを即、決めました。

実際にオーストラリアに行って感じたことは、自由と気軽でした。もちろん、留学自体は大変なことだらけでした。1日の宿題が最低3時間、そして多い時には5時間以上と、信じられないくらい勉強をしていました。他にも、全く違う環境にホストファミリーとの関係など、やれることそしてやらなければならないことはたくさんありました。

しかし、心の自由は日本と比べると大変大きかったです。初めに、人柄です。僕が会った方達は大半の人が初対面の人でもとてもフレンドリーでフランクでした。さらに、オーストラリアは人

と目が合うと微笑む習慣があり、初めての時はとても新鮮だと思いました。特に、良いと思った点は他人のことを気にしないことです。服装にしても行動にしても好きなことをするのが当たり前で、周りの人は迷惑だと思った場合それを言うのも悪いことではなく良いことだと思われることが一番の日本との違いが一番良いところだと感じました。それと同時に日本では歩いているだけでも疲れていたことに気がつきました。それとは逆に、日本の気遣いの気持ちは中々レベルが高いと思いました。

この留学をとおして、物事の自分の考え方が固まったり、とりあえず何でもやってみるようになったなど、英語以外のことも本当に変わったなど感じました。そして、今回、留学という形で、自分の周りの環境を変えることができ、新しいことを始めることができたと感じました。

St. Patrick's College受け入れ

オーストラリアの姉妹校 St. Patrick's College から短期ホームステイの一行（生徒19名、先生は Mr. Stephen Boag, Dr. Jules Colman, Ms. Sarah Jago の3名）を7月9日（月）～15日（日）の期間受け入れました。滞在中は、授業参加のほか、一行のための特別授業（華道、箏曲、書道、茶道、浴衣の着付け）、市内散策と町工場見学が組みられ、また ICC クラスとの交流会、小学校訪問、高校国際交流部との交流会などで親睦を深めました。

13日（金）放課後の留学生修了式で、校長先生から一人ずつ修了証を授与され、とても感激していました。連日の猛暑でしたが、皆さん元気で日本の夏を楽しんでいる様子でした。一行は、本校滞在のあと、広島、大阪を見学し、18日（水）帰国の途に着きました。



修了式での記念撮影



修了証授与



国際交流部主催のたこ焼きパーティ



吹奏楽部の歓迎演奏会



高校ICCの授業で交流



中学で授業体験



浴衣着付けと茶道体験



書道体験



ビーズでアクセサリ製作
(株式会社カワサキ)



市内の工場見学
(有限会社竹松商店)